



平成27年度開校記念日特別号

朝霞市立朝霞第一中学校

学校だより

〒351-0013 朝霞市大字膝折2-31

TEL: 048-461-0076

FAX: 048-467-4741

平成27年 11月12日 発行

Email: lchuu@city.asaka.saitama.jp

学校教育目標

自立
貢献
信頼

○自ら学ぶ生徒

○思いやりのある生徒

○健康に努める生徒

(目指す学校像)

誇りを胸に未来に向かって前進し続ける学校

地域で生きる～開校69年目を迎えて～

校長 二見 隆久



先週の土曜参観とその後の地域清掃「クリーン大作戦」ではご来校、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。授業参観では落ち着いた学習や運動に取り組む生徒達の様子をご覧いただけたことと思います。また今年度初めて実施しました「クリーン大作戦」では全校生徒が地域に出て、一斉にごみ拾いや落ち葉掃きを行いました。どの生徒も一生懸命に取り組んで学区域の美化に貢献しました。お手伝いいただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

さて、今月に入り地域の方から心温まる二つのお手紙を頂戴しました。いずれも本校生徒の善行についてでした。今回は開校記念日に当たり是非とも紹介したいと思います。(頂いた手紙全文は裏面参照)

一つ目は7月8日に怪我をされて困っていた市内の89歳の女性を助けた男子生徒についてです。その方は雨の降ったその日、校区内の島の上公園の入り口付近で転倒されて立ち上がれず困っていた時に通りかかった本校の生徒におぶって運んでもらったそうです。このことは10月19日付の読売新聞の投書欄にも載りました。その後その方は、どうしてもその生徒を探し出してお礼が言いたいと公園に近いお隣の朝霞三中に手紙を出されました。三中には該当する生徒がいないので手紙が11月4日に本校に回ってきて、確認したところ3年生の男子生徒であることがわかったのです。5日の朝、確認のためにその生徒を呼ぶと自分で間違いないが「当たり前のことをしていただけなので、人には話していないし、校内で取り上げるときに名前は出さないでほしい」と話していました。明日13日、本校にその方が来校されて生徒と対面する予定になっています。

もう一つは、11月5日に届いた練馬区在住の72歳の女性からのお手紙です。11月1日にお通夜のため朝霞市の斎場に来られ、不慣れな夜道で迷っておられた時に通りかかった本校女子生徒に駅まで送ってもらったことに対するお礼でした。該当生徒へのお礼状も同封されていました。ちょうど男子生徒への対応をしているときに頂いた2通目のお手紙の内容も心温まるものでした。確認したところ本校の2年生女子生徒であることが分かりました。その女子生徒は手紙を見て嬉しそうに「返事を書きたい」と話していました。この二つの善行については今朝の開校記念朝会で全生徒に披露しました。

今回のタイトル「地域で生きる」は実は去年の12月号の学校だよりで開校記念日に合わせて書いた記事「地域に生きる」をもじってつけました。去年のたよりでは、学校が地域の中にあり、生徒は地域に生きているのにもかかわらず、学校に寄せられる地域の声は厳しいものやお叱りがほとんどであり、地域と学校の距離が離れていくことへの不安を書きました。しかし1年後の今回のたよりに本校生徒が「地域で活きた(活躍した)」行動をとってくれたことを掲載できたのは喜ばしい限りです。そしてこの二人の生徒の行動を知った全校の生徒達の心にも芽生えたものがきっとあるはず。それは一中の生徒であるという「誇り」です。本校の目指す学校像「誇りを胸に未来に向かって前進し続ける学校」の実現に一步近づいた気がします。「クリーン大作戦」の時にも多くの生徒が「地域の人にお礼を言われて気持ちよかった」などと話していましたが、地域から「信頼」されることが子供たちの自信と誇りにつながれば本当にうれしいことです。

★善行に対するお手紙★ ～地域の方から頂戴したお手紙の全文～

前略

突然ですがお願いごとがあってペンを取りました。それはもうしばらく前の（七月八日）ことですが朝霞の島の上公園で転んで怪我をした者です。その時右足を骨折して二ヶ月程入院して帰って参りました。その時公園の入口といっても表側ではありません西朝霞公民館の裏側から出た島の上公園を通過して帰ろうとした時、公民館の坂になっていて夕方の五時まで通ることの出来る道があるのです。その裏道は舗装されているのですが島の上公園の裏からの入口は舗装されておらず土の上なのです。そしてその少しの間だけ急な坂道になっているところがあるのです。そこで私は転んでしまい立つことが出来なく大変困っていた時に通りかかったのが中学生の男の子が通りかかり小母さんどうしたの？と声をかけてくださり私は小母さん転んで立つことが出来ないのと云ったところその中学生（制服）の男の子が私を背負い近くの「東屋」まで運んでくれたのです。私も心が落ちついていなかったのでありがとうといったまま名前も学校もきかず別れてしまいました。私はその時右足を骨折して二ヶ月入院して九月三日に退院してきましたが一言お礼をいいたく思っていました。家族の者に近くの中学校にお願いすればといわれたのでペンを取りました。私共は朝霞へ越して来て六年余りになりましたけれどもあまり地理が分かりませんので学校へお願いしようと思っています。あの公園を通るお子さんはあまりいないと思っています。よろしく願いいたします。私の住所等書いておきます。

朝霞市 N・K (八十九才)

秋冷の候、貴校におかれましては益々ご清栄の事と存じます。

突然お便り差し上げましたのは、貴校二学年のSさんのご親切にお礼を申し上げたい事と、その善行をお知らせしたい気持ちでございます。

十一月一日（日）朝霞葬祭場に通夜に行った帰り道、帰りが七時半頃となり、行きの道と帰り道が違ったらしく、暗い夜道と道行く人もなく、歩く程に分からなくなり心細く途方にくれておりましたところ、自転車を押した少女に出逢いました。駅への道を聞くと「ちょっと遠いので連れて行ってあげましょう」とのお返事でした。「大丈夫？夕飯はまだでしょ？お母さん心配していない？」と言うと「大丈夫！大丈夫！」と明るく言って一緒に歩いて下さいました。「合唱で銅賞になった事」「陸上部だとの事」等、話して下さいました。「おばあちゃんだからいいけれど今の世の中いろんな事件があるので気をつけてネ！」「そうですね！いろんな事件がありますよネ！」「大丈夫ですが？早くないですか？」と歩調にも気をつけて下さいました。

こんな優しい少女に育っているのも、親御さん、先生のご指導の賜だと深く感謝いたしました。この気持ちを校長先生、皆々様にお伝えいたしたく、ペンを持っています。

貴校のご繁栄の程をお祈り申し上げます。

平成二十七年十一月三日

K・T 72才 拝



【生徒会スローガン】

STORY～みんなで作る物語～

みんなの力で未来に向かって



【今に伝わる校名表示板】



【正門わきに建つ胸像】

★活躍する一中生★

～大会・コンクール等の記録～

- 第60回記念朝霞市民総合体育大会野球大会
中学生の部Aブロック優勝・Bブロック優勝 野球部
- 第五回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦埼玉県大会
ハンデ戦最優秀賞 濱崎夏子
- 平成27年度朝霞支部科学教育振興展覧会
優秀賞「アルミニウムと磁石の不思議な現象」放送科学部
優秀賞「愛犬のための食材選び」松岡杏紗日
- 平成27年度第57回北足立地区児童・生徒発明創意工夫展
優良賞「タオルで留守番給水」河野春子
- 朝霞市読書感想文コンクール
入選 塚本千絢・渡邊萌瑛・鈴木碧・河野春子
- 朝霞地区中学校新人体育大会
水泳女子50m平泳ぎ 第2位 野本凜
バドミントン女子オープントーナメント
第1位 中川舞星・本村未夢
第2位 大畑萌々香・西香澄
第3位 角田菜桜・松崎朱里
- 第83回埼玉県駅伝競走大会中学校女子の部出場
長尾芽音・秋山遥・橋本聖菜・藪上楓・猪俣朱音
- 朝霞市青少年育成市民会議平成27年度ふれあい標語
佳作「あきらめず 続けて養う がまん力」榎本遥乃
佳作「その笑顔 だれかの心に 響いてる」狩野剛志
- 中学生の「税についての作文」
朝霞税務署管内納税協力団体協議会長賞 谷大夢起
- 2015（第21回）日本管楽合奏コンテスト全国大会
中学校B部門最優秀賞 吹奏楽部

「入賞した皆さん、おめでとうございます。誇りを胸に未来に向かってまた前進していきましょう。応援しています。」

★開校記念日を迎えて★

本日11月12日は朝霞第一中学校の開校記念日です。そこで、本校の歴史を改めて振り返ってみましょう。

昭和22年六・三制の新学期がスタートし、朝霞第一中学校の前身である「朝霞町立朝霞中学校」が現在の第一小学校の校舎を使用して、誕生しました。昭和23年には、前朝霞第四小学校の敷地を駐留軍のブルドーザーが一日で整地し、町長はじめ町民の寄付を集めて陸軍士官学校の校舎の払い下げを受け、簡素ながらも念願の中学校単独の校舎が二棟建ちました。校章は昭和27年に制定されました。当時は中学校が朝霞には一校だけだったので朝中とし、これを三本の線で囲みました。三本の線は毛利元就の有名な「三本の矢」の教訓を念頭に、強い「協力」の精神を表し知・徳・体三位一体の調和を表したものです。

しかし、朝霞中学校(前四小の敷地)は駐留軍の基地に近く、昭和25年から28年の朝鮮戦争もあり、治安が悪く、良い環境というわけにはいきませんでした。そこで、元町長の綿谷新之助翁は、「よりよい環境で、立派な教育を子ども達に」の願いのもと、自ら一千万円を寄付し、町民や全国に散っている朝霞出身者からの寄付も募りました。また、小中学校の家庭に、毎日十円貯金の実行を訴え、銀行融資の基金としたり、赤十字からの寄付も受けるなど、約二年間にわたり、町ぐるみの運動を進めました。このことが県当局や文部省の理解を深め、昭和32年の新校舎設立に必要な土地、建物の資金約一億円を起債並びに、補助金を受けることに成功しました。そして、昭和32年10月28日、幸町(現在、新朝霞四小になっている)にプール付きの三階建鉄筋校舎が建ち、**入校式が行われた11月12日が本校の開校記念日**となったのです。本校校門を入ってすぐの所に胸像が建っているのは、この綿谷新之助翁の功績をたたえたものです。昭和41年に二中ができ朝霞町立朝霞第一中学校に、翌年、町が市になり朝霞市立朝霞第一中学校に名前が変わりました。

その後、平成18年4月よりキャンパードレイク跡地に新設された現在の新校舎に移転し、新たな一中がスタートしました。現在の中になっ

て、今年度でちょうど10年目、来年度は開校70周年を迎えます。